

ほけんだより 4月号

尚徳福社会 とちょう保育園

窓からの転落事故は、毎年5月が最多です。今からお子さんの発達に合った環境の見直しを。

ご入園、ご進級おめでとうございます。お子さんが、保育園で楽しく元気に過ごせるようにご家庭と協力していきたいと思っております。ご心配なこと、ご不安なことがありましたらいつでもお声かけください。連絡帳へ書いていただいても、お返事をいたします。

4月号は、大切なお知らせをまとめてあります。お家の見やすいところに保管してください。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

よく
お願い封

登園前、ご自宅で検温をしていただき、連絡帳に記載してください。

なさそうという項目がありますが、検温をしていただき、

37.5℃以上の際は、登園を控えていただくようお願い申し上げます。

発熱がある時は受診していただき、保育園に通っていることを伝え、いつから登園可能かどうか、主治医の診断のご確認をお願いいたします。

PCR検査・抗原検査を受けた際は、園まで（休日は園長携帯）ご連絡をお願いします。

送迎される方は、毎日の健康観察チェックシートの記入とご自宅での保管をお願いします。

また新宿区から、同居ご家族の新型コロナウイルスの感染が判明した場合、5日間は登園を控えていただくこと、同居ご家族がPCR検査を受けられた際は、結果が出るまで登園を自粛していただくよう、指導を受けておりますのでご協力をお願いいたします。

感染症関係のお知らせ

集団生活ですので、発生時に蔓延を防ぐためにとても大切です。ご協力をお願いします

園では、感染症回復後の登園の際に、感染症の種類によって、主治医記入の意見書、または保護者記入の登園届を提出していただいております。『尚徳福社会HPとちょう保育園 各種書類ダウンロード 感染症の病気について』に掲載があり、プリントアウトできます。事務所でもお渡しいたします。

園医の考えとして、**38℃以上の発熱があった時、集団生活に適應できる目安は、解熱剤や座薬の使用がなく解熱後24時間を経過した後**です。

感染症発生時、お知らせを廊下掲示板・タイムカード横に掲示しますので、ご覧ください。

感染症発生時に受診する際には、「今、保育園で〇〇と診断されたお子さんがいます。」とお伝えください。診断の参考にしていただけます。

発熱、嘔吐、下痢症状がある場合や感染症を発症している保護者の方やごきょうだいをお連れの際の送迎は玄関外での対応とさせていただきます。インターフォンを押して、その場でお待ちください。

園での与薬について

園では原則として与薬を行わないことになっております。しかし、お子さまが健康的な日常生活を過ごせない場合に限り、主治医が日中必要と指示があった薬（熱性けいれん・てんかんなどのけいれん予防薬、心臓病などの慢性疾患、アナフィラキシー予防薬など）はお預かりしております。

受診の際には、保育園に通っていることを伝え、なるべくご家庭での服薬ができるよう、1日2回処方をお願いいたします。

服薬が必要な際、主治医記入の与薬に関する主治医意見書をご用意の上、ご相談ください。

5月以降は
対応が変更になる
可能性があります。
決定次第お知らせ
します。

お願い

予防接種後は、副反応による発熱等に備え保護者の方の見守りが必要です。**休日または降園後に受けていただくよう**お願いいたします。保健記録に転記いたしますので、種別と回数を連絡帳でお知らせください。

健診や歯科健診も同様にお知らせください。

服薬中は薬名を、ホクナリンテープを貼っている時も連絡帳でお知らせください。テープが万が一はがれてしまった際には、誤食防止のため園で処分いたします。ご了承ください。

看護師は、2名です。

よろしくお願いいたします

身体測定

〇歳児健診

今月の
保健行事